

Company File
躍進企業が
今日も行く

田中産商グループ

創業105年を迎えた老舗企業が打ち出した、『生活産業プロデュース』というベクトル。



1世紀以上の永きに渡り、静岡という地に根ざし、地域と共に歩み成長してきた田中産商株式会社。その歴史は、常に時代の変化という荒波に即応してきた歳月の流れであった。その原動力は、『地域との信頼の絆』。このスタンスを変えることなく、多様化する時代を迎えた今、新たなベクトルを打ち出した田中社長にご登場いただいた。

時代背景が生み出した多彩な事業展開
— エネルギー事業など、様々な事業を手掛けています？
田中 明治36年にコークスや石炭などを扱う『エネルギー商社』としてスタートを切った会社ですから、エネルギー事業が現在も中核であることは間違いありません。しかしエネルギー事情は、この1世紀の中でも大きく変化してきました。当社も、創業時は石炭、コークスがメインの扱い品目で、鉄道などの運輸関係や石炭ガスの原料、そして鉄鋼・造船などの基幹産業等へ幅広く提供していましたが、ニーズを先読みして次第に石油へとシフトしました。石油等を扱い、茶業などの農業用から工業用まで地域に密着した企業様にご提供してきたのです。また、モーターゼーションの黎明期である昭和28年には、現在はオートガスタンドになっている日出町にSSをオーブン。昭和34年から一般の販売も始めました。求められるものを迅速に提供するのが商社の使命である以上、常に時代に即したエネルギー供給をしてきたわけ

「量より質」の追求が生み出したもの
— 現在のカーライフサポート事業も、その流れの中から？
田中 そうです。日出町を皮切りにSSを出店し、時期のズレはありますが、延べ8店舗を運営してきました。ただ、現在のような価格競争一辺倒ではなく、サービスの質で選んでいただけた時代。まさにサービス・ステーションとして、誇りを持ってSS事業を展開してきたつもりです。それが昭和終盤ぐらいから、どうも様子がおかしいと感じ始めた。SS自体が飽和市場となり、値段ばかりで競っている。当社には、創業当初から付加価値の高い商品サービスを提供してきたという自信があります。質より量というのは、肌合いません。スタンスが違うのです。そこで段階的にSS事業を縮小しようとして、しかし、スクラップするだけでは社員をリストラしなければならぬ。並行して新規事業を進めていく必要があったのです。それが田中第一ビルにおける貸ビル業であり、カーライフサポート事業です。このように時代背景の中で様々な事業が創造・拡張されてきた。それが、今の田中産商グループです。



大林組で行われた従来構造の免震構造墓石との比較振動実験

一貫して請負い、納得のいく建築物を作つていきたいと思ひます。

墓石は先祖への敬慕の象徴だから守りたい。

— 墓石事業にも力が注がれています。
田中 現在、特許出願中の最新墓石は『免震墓石』と言って、土台と墓石、石塔部の空間に免震装置を取り付け、震災時における倒壊を防止する仕組みとなっています。阪神淡路や新潟での大震災の時に墓石がドミノのように倒れているのを見て、いたたまれない気持ちになりました。ただお断りしておきたいのは、静岡が地震の危険性が高いから免震を講ずればビジネスになると考えたわけではありません。お墓というのは、先祖への敬慕の象徴であり、故人の永住する家。震災で倒れるようなことがあつてはなりませんし、もし倒れた場合には、よそ様のお墓にまで被害を及ぼすことになる。仏になられた方の終の棲家は、やはり美しく尊厳をもつたままであつて欲しいとの思いからです。当社が90周年を迎えた平成5年、墓石ギヤラー菅提樹をオーブンさせました。これは石の魅力を知つていただくことを大きな目的としていますが、様々な墓石の提案の場ともなっています。

— リフォーム事業を加え、『生活産業プロデュースグループ』へ、
— さらに、リフォームという新しい動きが？
田中 今年6月1日からスタートさせましたが、実は3〜4年かけて準備してきた事業です。当社は、対企業に視線

が向いているように思われがちですが、現状は違います。会社のベクトルが、創業100周年を超えた頃から大きく変動してきているからです。現実には、家庭用LPGの供給を通じながら、キッチンやバスルーム等の住まいのリフォーム提案をしてきていますし、カーケアアラザタナカを中心に車検・保険・車輻の販売・下取りなど、全てのカーライフ・サービスも行っていきます。すでに、皆様のご家庭と直接接点を持つていたのです。しかし、トータル提案できていたか？となると物足りない部分があつたのも事実。そして環境問題や少子高齢化社会の到来等によりライフスタイルや価値観が変化せざるを得ない今、このトータル性はさらに重要となるでしょう。なぜなら、これからのライフスタイルには、安心・快適・健康ゆとり・創造性・こだわり・独自性など、様々な要素が加味されることは間違いなく、これにお応えするには暮らしをトータル・プロデュースできる専門集団であることが不可欠。これを埋めるピースの一つが、新しく傘下に迎えた内装工事・リフォーム



田中康隆 代表取締役社長

田中産商グループ 概要

- 田中産商株式会社 TEL.054-287-1100
不動産事業、総合マネジメント
- タナカ燃料株式会社 TEL.054-289-1112
ガス事業、カーライフサポート、石油事業、保険事業
- タナカ石材株式会社 TEL.054-282-0044
墓石販売、建築石材
- 株式会社シンエイ建築 TEL.054-262-3246
内装・外装工事、ブラインド・パーテーション、OAフロア・耐火被覆工事
- 有限会社ホームレスキュー TEL.054-262-3098
マンション、一般住宅、店舗などのリフォーム

URL <http://www.tanaka-gp.co.jp/>